



## 社団法人 日本化学工業協会

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目4番1号 住友不動産六甲ビル7階  
TEL: 03-3297-2555 FAX: 03-3297-2615 URL: <http://www.nikkakyo.org/>



2007年5月23日

### 第39回 日化協 技術賞選定について

(社)日本化学工業協会

日本化学工業協会(日化協)は、このほど、第39回日化協技術賞を決定しました。同賞は、化学技術の進歩向上を図り、化学産業の発展を図る一助として設けられた賞で、優れた化学技術を毎年表彰しています。

本年は、10件の応募があり、技術委員会(委員長:千葉泰久 宇部興産(株) 代表取締役副社長執行役員)で慎重に審議を重ねた結果、次のとおり決定しました。受賞業績は以下のとおりです。なお、表彰式は5月30日の第16回日化協通常総会会場(パレスホテル、東京都千代田区)において執り行う予定です。

#### 日化協技術賞(総合賞)

##### アステラス製薬株式会社「過活動膀胱(OAB)治療剤ソリフェナシンの研究開発と企業化」

頻尿、尿失禁、尿意切迫感(突然起こる強い尿意で我慢することが困難なもの)という症状をもたらす過活動膀胱の治療薬として、従来、非選択的なムスカリン受容体拮抗薬が用いられてきたが、唾液分泌減少による口内乾燥等の副作用が多く、また、尿意切迫感に対する効果が低く、改善が望まれていた。本新薬は、新規なムスカリンM<sub>3</sub>受容体拮抗薬「ソリフェナシン」であるが、口内乾燥等の副作用が少なく、頻尿及び尿失禁の軽減に加え、過活動膀胱の中心的な症状である尿意切迫感に対しても高い効果を示した薬剤である。その上、一日一回の服用で治療に最適な血中濃度を24時間維持することができるという特長を有している。2004年の欧州を皮切りに、その後米国、日本でも発売され、2006年度の世界全体の売上高は約340億円に達する見込みである。高齢化社会の進行と共に、過活動膀胱患者は世界的に増加すると考えられるが、薬物治療の質を改善し、患者の社会生活の質を向上するという社会的ニーズの高い新薬を開発、企業化した意義は非常に大きい。

#### 日化協技術賞(技術特別賞)

##### 日立化成工業株式会社「リチウムイオン電池負極材『MAG』」

ノートパソコンや携帯電話等の携帯機器は年々小型・軽量、長時間稼働が求められる一方、機能付加が増えていくため消費電流は増大している。そのため、駆動電源としてより高性能なリチウムイオン電池が求められているが、本電池負極材は、従来の黒鉛系負極材に対し、消費電流の増大(大電流放電時)に対し電極の劣化が少なく長持ちするとともに、その際の容量が、10~40%向上する特長を有している。そのため、本製品は1999年より販売を開始して以来、2006年度は約95億円の販売額となり、現在世界市場シェアの45%を獲得するに至った。今後、高性能リチウムイオン電池の需要はますます高まり、電極材料市場も年率10%以上の高成長が見込める中で、本技術の寄与度はますます高まるものと思われる。

#### 日化協技術賞(環境技術賞)

##### 宇部興産株式会社・株式会社荏原製作所

##### 「加圧二段ガス化システムによる廃プラスチックのケミカルリサイクル技術」

本技術は、従来、焼却または埋め立て処理されていた廃プラスチックから化学原料用合成ガスを製造し、化石原料の代替として大幅な環境負荷低減を可能とするものである。ダイオキシン類の発生を極限に抑えたもので、廃プラスチックの選別が不要であり、化学工業原料として利用できる水素、一酸化炭素、二酸化炭素主体の合成ガスが製造できる。2000年1月から山口県宇部市にて実証試験、引き続き2001年より商業運転を開始し、現在100トン/日の処理能力を有し、隣接するアンモニア製造工場に化学原料用ガスを提供している。さらに、関東地区においても本技術を使用した195トン/日の処理能力を有する設備が、2003年より稼働中である。

本リリースに関する問い合わせ先: 日本化学工業協会 広報部/青山 tel.03-3297-2555